

川崎市立川崎病院通信



川崎市立川崎病院
シンボルツリー



川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。

患者さんの権利や
病院運営方針はこちら



手術支援ロボット特集

当院の手術支援ロボットについて

当院では2016年に、手術支援ロボット「Da Vinci®(ダビンチ)」を導入し、患者さんの負担をできるだけ軽減し、より高精度な医療の提供に取り組んでいます。今回は、手術支援ロボットの紹介と、当院の治療について、受診から手術の流れについて紹介します。

手術支援ロボットの紹介

手術支援ロボットとは、複数のロボットアーム（腕）を医師が遠隔操作して手術を行う医療用ロボットです。「ロボットが自動で手術をする」といったイメージを持たれるかもしれませんが、実際に手術を行うのは十分な訓練を経て認定を受けた医師であり、ロボットはその動きを支援するサポート役を担っています。ロボットアームは医師の手の動きを忠実に再現し、細かな作業を安定して行うことができるため、手ブレを抑えることで、より精密で安全性の高い手術が可能となります。



ロボット本体



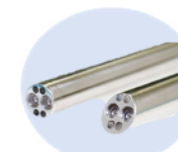
ハサミ



止血器具



切開&止血器具



カメラ

ロボット本体には、複数のアームが付いています。アームの先端には、切開するためのハサミや血を止めたり、組織をつかんだりする器具、体内を立体的に映し出すカメラなどを取り付けることができます。医師は離れた場所から操作を行い、その操作に合わせてロボットのアームが正確に動きます。

手術支援ロボットは3つの機器で構成されています

操作装置

(サージョンコンソール)

医師が座って手術を行う操作装置です。3Dで映し出される画像を確認しながら手元のコントローラーを使ってロボットを動かします。



ロボット本体

(ペイシェントカート)

医師のコントローラーからの遠隔操作によって、ロボットのアームに付けられた様々な器具で患者さんの手術を行います。



ビジョンカート

手術中の患者さんの体内の様子が映し出されます。助手や看護師が状況を確認するための補助機能を担います。



遠隔操作

画像投影

画像投影

ロボット手術と開腹手術の違いについて

手術には様々な方法がありますが、今回は「開腹手術」と「ロボット手術」の違いについて紹介します。お腹を大きく切開して行う開腹手術に対して、ロボット手術はお腹に小さな穴を数か所開けて器具を入れて手術を行います。ロボット手術は体に負担が少なく、術後の回復も比較的早いですが、すべての患者さんに適しているわけではなく、病気の進行状況や体の状態によっては、幅広い症例に対応できる開腹手術の方が安全な場合もあります。当院では患者さん状態に合わせて最も適した手術方法を判断しています。

	ロボット手術	開腹手術
傷口	小さい 	大きい 
出血量	少ない	多い
術後の痛み	少ない	強い
入院期間	短い	長い

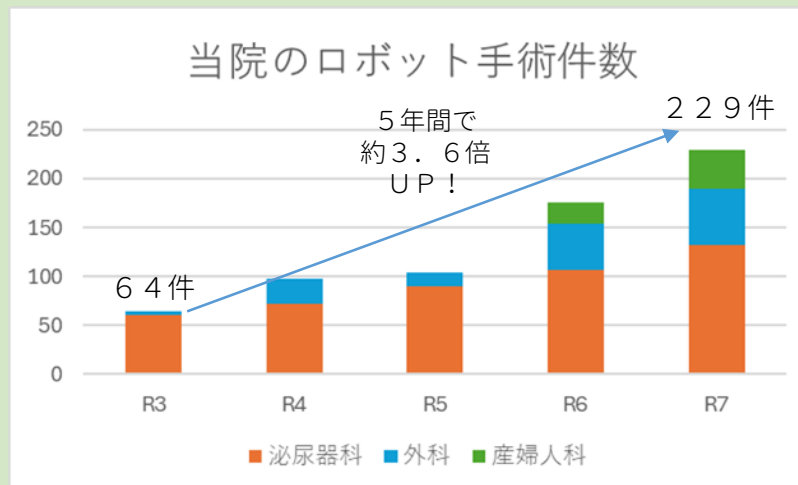
手術支援ロボット 徹底解剖！

当院のロボット手術実績

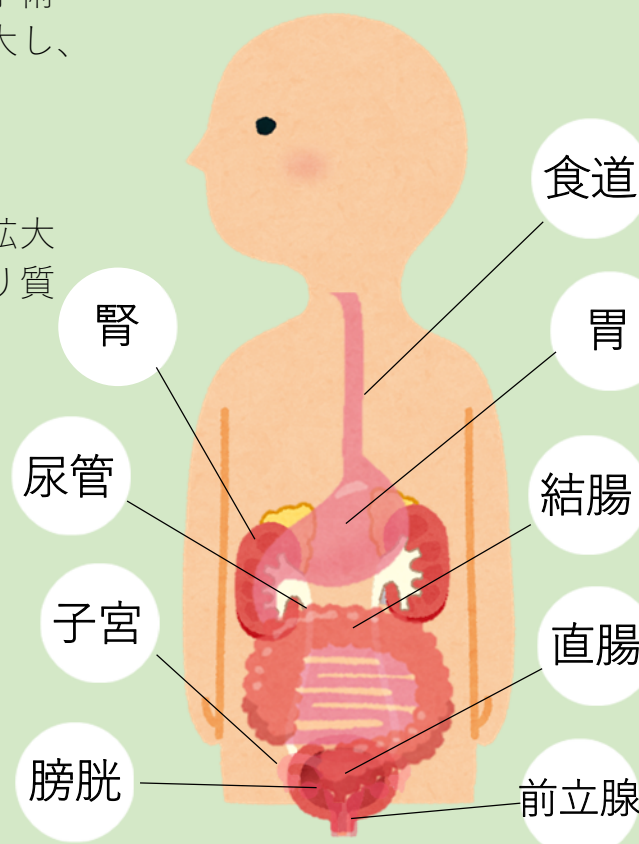
当院では、泌尿器科・外科・産婦人科でロボット手術を実施しています。対応可能な手術部位は年々拡大し、現在では9箇所まで広がりました。

手術件数も着実に増加しており、直近5年間で、約3.6倍の229件まで増加しています。

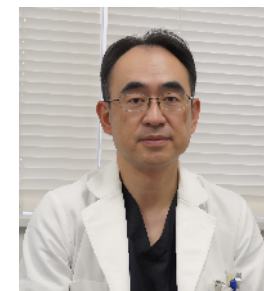
今後も、患者さんのニーズに合わせて対象部位の拡大を検討し、最新の医療技術を取り入れながら、より質の高い医療の提供に努めてまいります。



当院の手術部位



ロボット手術センター 原副院長より



当院では、患者さんにより安全で負担の少ない医療を提供するために、ロボット支援手術を行っております。ロボット支援手術では、3Dハイビジョン画像による鮮明な視野のもと、直感的に自分の手のようにアームを動かすことができ、従来であれば手の入らない狭い空間でも安定した操作ができるというメリットがあります。

これにより、出血量の軽減、機能温存、術後の早期回復が得られ、患者さんの早期社会復帰にもつながります。当院ではこれらの医療技術を活用し、これからも患者さん一人ひとりに寄り添い、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

受診から手術までの流れについて

予約

紹介状をご用意の上、予約センターにご連絡ください。
044-246-0489
平日9時～16時半

受診

必要な検査等を行い、診断後にロボット手術を含む治療の選択肢について医師から説明を行います。

入院

入院生活についてのご案内、術前検査、手術・麻酔などの説明を行い手術に備えます。

手術

手術方法は疾患によって異なります。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

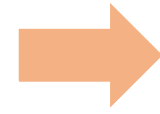


今日から始める健康づくり 「自宅でできる簡単運動・ストレッチ」

運動を行うことで、

- ・転倒予防
- ・筋力低下予防
- ・疲れにくい身体づくり

につながります。



しかし、骨や筋肉を維持するためには、
歩くだけでは不十分！

散歩やウォーキングに、毎日少しの筋トレとストレッチをプラスしましょう！

歩 行 運 動



ポイント

- ・会話ができる程度の負荷
- ・目指すは1日6000～7000歩（10分歩くとおよそ1000歩）
- ・無理せず継続が大切



ス ト レ ッ チ

●ふくらはぎ伸ばし

足を前後に開き、後ろ足のかかとを床につけてふくらはぎを伸ばします



ポイント

- ・10～20秒
- ・左右2回ずつ
- ・息を止めない
- ・痛みが出ない範囲



筋 力 運 動

●椅子スクワット

椅子からの立ち座りを繰り返します



●かかとの上げ下ろし

かかとを左右同時にゆっくりと上げて下ろします



ポイント

- ・10～15回を
1セット×3～4セット
- ・息を止めない
- ・息切れ、動悸、疲労が
出ない範囲

